

中学校美術 専門問題例

例1 次の文は、焼き物の制作について書かれたものである。次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

陶芸用粘土は、乾燥や焼成時の(①)を防ぐために、(②)等を適度に混合して(③)や耐火性を高めている。乾燥した粘土に熱を加えると、粘土を構成しているカオリン鉱物が、(④)前後の温度で最初の化学変化を起こし、強度が増す。

成形の方法として、てびねり・(⑤)・(⑥)・型づくり・ろくろづくりがある。粘土は成形の前に十分に練って制作にかかる。作品の形状を考慮して、成形方法を選択する。マグカップの取っ手などは破損しやすいので、(⑦)で接着する。

(1) (①)～(④)に最も適する語句を、語群ア～コより選び、記号で答えなさい。

ア 溶解性	イ 1500℃	ウ 蛙目・木節粘土	エ 450℃	オ 水肥粘土
カ 150℃	キ 樹脂粘土	ク 亀裂	ケ 可塑性	コ 組成

(2) (⑤)～(⑦)に最も適切な語句を答えなさい。

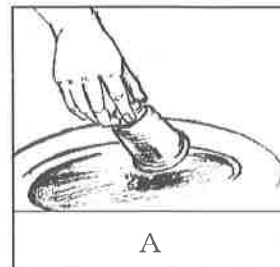
(3) 次の(⑧)・(⑨)に最も適切な語句を入れ、基本的な制作の手順を完成させなさい。

成形 → 乾燥 → (⑧) → (⑨) → 本焼き → 完成

(4) ろくろづくりに使用する道具を、ろくろ以外で3点答えなさい。

(5) 成形の前に十分に練ってとあるが、なぜその作業が必要なのか、具体的に理由を書きなさい。

(6) Aの作業の技法名と指導上の留意点を答えなさい。



例2 次の文は、油彩画の画材について説明したものである。(①)～(⑩)にあてはまる最も適切な語句を語群ア～ナから選び、記号で答えなさい。

油絵の具は、色の元となる(①)を乾性油で練り上げたものである。水彩絵の具と違い空気中の(②)と結合し絵の具が収縮せず、キャンバスにしっかり定着し(③)をもった表現ができる。溶き油には、乾性油と(④)があり、リンシード油は(⑤)、ポピー油はけしの種子からつくられゆつくと硬化する。テレピン油は、(⑥)を蒸留した植物性油でペトロール油は、(⑦)を精製したものである。キャンバスの規格には、縦と横の比率によって、「F」・「P」・「M」・「S」があり、正方形の比率をもつのは(⑧)の規格である。タッチを残す描き方には腰の強い(⑨)を使用する。また、平滑な塗り込みの表現には、(⑩)を使用することにより表現の幅を広げることができる。

ア 石油	イ 松ヤニ	ウ 厚み	エ 動物性油	オ 顔料	カ 揮発性油
キ 酸素	ク 豚毛の筆	ケ いたち毛の筆	コ ペインティングナイフ		
サ 窒素	シ あまの種子	ス S	セ P	ソ M	タ 馬毛の筆
チ F	ツ 腕鎮	テ 染料	ト 木炭	ナ パステル	

例3 次の文は、近代美術科教育史について書かれたものである。(①)～(⑩)にあてはまる最も適切な語句を答えなさい。

明治中期は、フェノロサや(①)らによる(②)がきっかけとなり、東京美術学校が創設され、卒業生が各地の図画教員になっていくことで(③)が広まった。

明治後期から大正初期には、明治43年発行の国定教科書(④)を用いて、小学校で図画の指導が具体化した。絵画ばかりでなく、(⑤)、色彩、(⑥)、投影図等も導入された。

大正中期から昭和初期には、洋画家(⑦)による(⑧)が起こった。(⑦)は芸術教育としての図画教育観と手本を排斥した写生や(⑨)による自由画を提唱した。特に、児童用の画材として(⑩)が有益なことを唱え、風景写生が広まった。

例4 次の(1)～(5)について、最も適切な例をA～Eから1つ選び、記号を答えなさい。

(1)彩度対比 (2)補色対比 (3)色相對比 (4)明度対比 (5)縁辺対比

- A 半割したキウイの断面は黄緑で青い皿にのせると、その断面が黄色っぽく見えた。
 B 夏休みが終わり登校すると、友達の日焼けした顔が白いシャツに映えて黒く見えた。
 C 自宅の外壁を、灰色で明・中・暗色に20cmの間隔で塗り分けた時、色面の接する部分が際だって見えた。
 D 公園に青緑の葉の間に咲いたバラの赤い花が、とてもあざやかに見えた。
 E 赤い皿に盛られた牛肉の色が、くすんで見えた。

例5 次の図版A～Eを見て、(1)～(3)の問いに答えなさい。



(1) (①)～(⑧)に最も適切な語句を語群から選び答えなさい。

図版Aは、大らかな統治者の風格が美しく表現された(①)の最高峰である。図版Bの(②)は五本足をもつ有翼人頭の牡牛で、(③)王宮の入り口に設置されていた。図版Dの(④)彫刻の特徴は、天上からの神の声をじっと聞き入っているような(⑤)と、自由さやおもしろさにはとぼしいが(⑥)で充実した強さを持っている。顔は特に写実的に表されており、目には(⑦)をはめて生きた姿をそのまま表そうとした。図版Eは、ギリシア初期の作品で、(⑧)期彫刻の特徴をよく表している。

表情が豊か	エジプト	アルカイック	ギリシア	ラマシュ	静的表現	玉眼
アッシリア	動的表現	優雅	ヘレニズム	雄大な動勢	ラホテブ	螺鈿
ローマ肖像彫刻	ルネサンス	写実的	量感が豊か	模刻	ヘレスチニク	

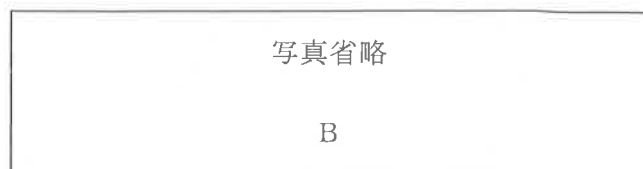
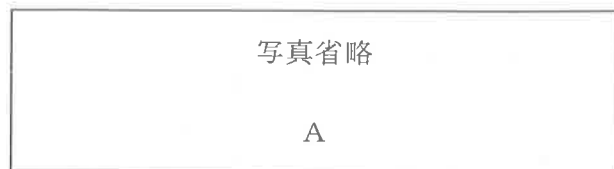
(2) A～Eまでの作品を古い順に並べなさい。

(3) Cの作品は建築物の一部である。その建築物の名称を答えなさい。

例6 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 絵巻物について、(①)～(⑥)にあてはまる最も適切な語句を答えなさい。

絵巻物は、横長の絹や紙に描かれ、一般的な形式として画面(①)から(②)に向かって物語が展開していく日本の特徴的な絵画である。(③)時代後期から(④)時代前期にかけてすぐれた作品がつくられた。絵と絵の間に、説明文である(⑤)が添えられているものが多い。時間の経過を表すために、一つの画面に時間の異なるいくつかの場面を描き込む(⑥)という手法も多く用いられている。



(2) Aの作品名を答えなさい。

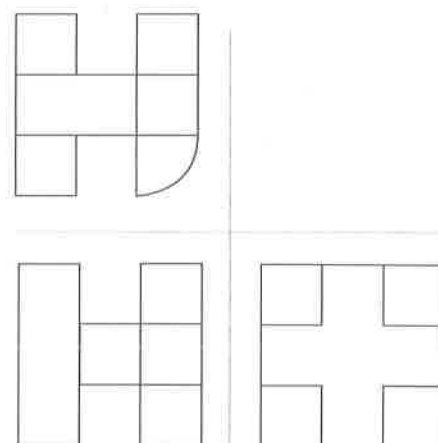
(3) Bの作品名を答えなさい。

(4) Bの作品は、墨線の太さやかすれ、濃淡で量感や質感を表している。このような描画法を何というか、答えなさい。

例7 右の投影図法(第三角法)で表された立体を、形体の特徴がよく分かるように描きなさい。その際、次の条件に従って描くこと。

<条件>

- ① 解答欄内の消失点を用いて、二点透視図法で描くこと。作図に使用した線は残すこと。
- ② 第三角法で示された三面がすべて見えるように描くこと。
- ③ 平面図で見える面を鉛筆で黒くぬること。



例8 次の文は、中学校学習指導要領「第2章 各教科 第6節 美術」「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。(①)～(⑧)にあてはまる語句を答えなさい。

2 第2の内容の指導については、次の事項に配慮するものとする。

(1) 各学年の「A表現」の指導に当たっては、生徒の学習経験や能力、発達特性等の実態を踏まえ、生徒が自分の表現意図に合う(①)や技法、材料などを選択し創意工夫して表現できるように、次の事項に配慮すること。

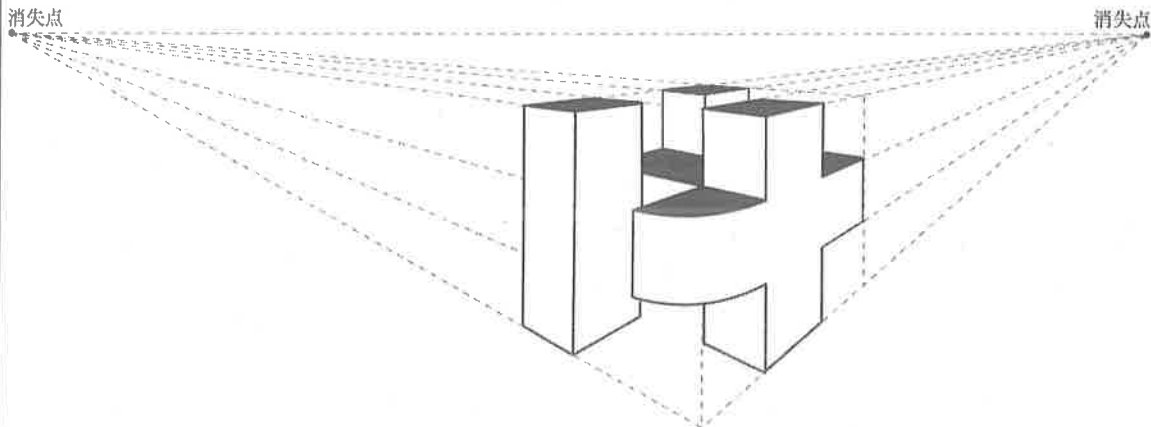
ア 見る力や(②)、(③)、描く力などを育成するために、(④)の学習を効果的に取り入れるようにすること。

イ 美術の表現の(⑤)を広げるために、写真・ビデオ・コンピュータ等の(⑥)の積極的な活用を図るようにすること。

(2) 各学年の「B鑑賞」の題材については、日本及び諸外国の児童生徒の作品、(⑦)についても取り上げるとともに、美術館・博物館等の施設や(⑧)などを積極的に活用するようにすること。

中学校美術 正答例

問題番号		正 答
例 1	(1)	① ク
		② ウ
		③ ケ
		④ エ
	(2)	⑤ たたらづくり
		⑥ ひもづくり
		⑦ どべ
	(3)	⑧ 素焼き
		⑨ 施釉
	(4)	とんぼ
		かんな
		鹿皮
	(5)	(正答例) 焼成時の破損を防ぐために、粘土の中の空気を除く。
	(6)	技法名 ひたしがけ
		留意点 (正答例) 作品を逆さに持って、空気が入らないように釉薬につける。
例 2	①	オ
	②	キ
	③	ウ
	④	カ
	⑤	シ
	⑥	イ
	⑦	ア
	⑧	ス
	⑨	ク
	⑩	コ
例 3	①	岡倉 天心
	②	新日本美術運動
	③	毛筆画
	④	新定画帖
	⑤	図案
	⑥	透視図
	⑦	山本 鼎
	⑧	自由画教育運動
	⑨	想像画
	⑩	クレヨン

問題番号		正 答	
例 4	(1)	E	
	(2)	D	
	(3)	A	
	(4)	B	
	(5)	C	
例 5	(1)	①	ローマ肖像彫刻
		②	ラマシュ
		③	アッシリア
		④	エジプト
		⑤	静的表現
		⑥	量感が豊か
		⑦	玉眼
		⑧	アルカイック
	(2)	古い D → B → E → A → C 新しい	
	(3)	ランスのノートルダム寺院	
例 6	(1)	①	右
		②	左
		③	平 安
		④	鎌 倉
		⑤	詞書（き）
		⑥	異時同図
	(2)	伴大納言絵巻	
	(3)	鳥獣人物戯画	
	(4)	白描法	
例 7			

問題番号		正 答
例 8	①	表現形式
	②	感じ取る力
	③	考える力
	④	スケッチ
	⑤	可能性
	⑥	映像メディア
	⑦	アジアの文化遺産
	⑧	文化財